

サイネリア キク科 一年草 開花期 11~5月



週報
通算 1932回
17号

例会日：水曜日
第1・第2 夜間・18:30~
第3・第4・第5 昼間・12:30~
例会場：華月殿 和歌山市屋形町 2-10
事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁 23
サイバーリンクス N-4ビル 2階
TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200
http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html
E-mail: a-rotary@coral.cypress.ne.jp
会長：辻本圭三 幹事：土屋一博
クラブ会報委員長：籠田 弘 副委員長：和田 薫

本日の例会

11月24日(水)
12:30~華月殿

ロータリーソング：

行事：外部卓話 音楽療法②
和歌山市民オペラ協会 会長
和歌山音楽療法研究会 理事長
多田佳世子様

次回の例会

12月1日(水)
18:30~華月殿

行事：クラブ総会
次年度役員・理事選挙
上半期活動報告① 各委員会

先週例会報告

ゲスト：和歌山市民図書館 館長 木村哲文様、事務長 恩賀進様、司書 額田美那子様 会場監督 鯨 拓也

会長挨拶

辻本圭三 会長



- 恒例に従い、RIのテーマの唱和をお願いいたします。「地域を育み、大陸をつなぐ」
- 今月はロータリー財団月間ですので、ロータリー財団について、少しご説明させていただきます。

(1) 沿革

ロータリー財団は1917年に基金として発足し、1928年国際大会でロータリー財団と名付けられました。そして、1931年に信託組織となり、1983年米国イリノイ州の法令の下に非営利団体法人となりました。

(2) 使命

ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。(ロータリー財団章典)

(3) 組織

- ① 管理委員会 RI会長が理事会の承認を得て、15名の管理委員を任命することになっており、財団の運営はこの管理委員会で行っています。
- ② 地区ロータリー財団委員会 1人の委員長と8名の小委員会委員長で構成されます。

(4) 事業資金

- ① 年次寄付 3年後に50%を国際財団活動資金として、残りの50%は地区財団活動資金として使用することになっています。
- ② 恒久基金収益 元金には一切手をつけることができず、収益の50%を地区財団活動資金として使用することになっています。基金の財源は、一般寄付やロータリアンの寄付であります。

(5) プログラム

- ① ポリオプラス 国際ロータリーの特別のプログラムであり、撲滅の証明が達成されるまでは、他のすべてのプログラム以上に優先されるとされています(ロータリー財団章典)。これまで世界で100万人余のロータリアンが、ポリオプラスに8億米ドル以上の寄付を行なってきました。診療所を支援し、予防接種のための地域社会を動員し、その他のポリオ撲滅活動に参加するなどしています。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、ポリオ撲滅に対する活動を高く評価し、3億5500万米ドルの補助金を提供しています。これを受けて、ロータリーは2012年6月30日までに2億ドルを独自に集めることを目標としました。
- ② 教育的プログラム
 - ① ロータリー財団国際親善奨学金 大学レベルの民間の留学プログラムとしては世界最大のものです。
 - ② 研究グループ交換 (group study exchange) 事業や専門職務経験の浅い25~40才の男女に、文化と職業に関するまたとない交流の機会を与える。4週間から6週間の交換旅行をするための旅費を補助しています。
- ③ 人道的補助金
 - ① マッチンググラント ロータリークラブと地区が、他国のロータリアンと協力して、国際的な人道的プロジェクトを遂行する事業に援助しています。
 - ② ボランティア奉仕活動補助金
 - ③ 保健、飢餓追放及び人間性尊重補助金
 - ④ 災害復興

| ニコニコ | 米山奨学金 | ロータリー財団 | 東南青英会 | 40周年記念BOX | |
|------|---------|---------|---------|-----------|---------|
| 累計 | 912,990 | 137,000 | 150,000 | 21,000 | 471,000 |

| 出席報告 | 出席者 | 出席率 |
|--------|-----|------------------|
| 会員総数 | 52名 | 11/17 39名 79.59% |
| 出席免除会員 | 3名 | 10/27 43名 89.58% |

幹事報告

土屋一博 幹事



- 先日の例会にて「奄美地方豪雨災害義援金」のBOXを回ささせて頂き、28,600円のご寄付が集まりました。皆様のご協力、ありがとうございます。11月15日にガバナー事務所へ振込させて頂きました。
- 11月14日(日)一万人大清掃にご参加頂きまして、ありがとうございます。
- 各テーブルに3件の資料を置いております。ご覧ください。
 1. 新聞ニュースと広告記事(毎日新聞 11月9日/11日(和歌山版)に地区大会の記事)
 2. アンコール小児病院の「9月の出来事」として、現地の様子の記事。
 3. 40周年記念事業として、和歌山市民図書館に寄贈する「大活字本」。各テーブルに2冊ずつ。
- 本日、定例理事会を開催しますので、役員・理事の方はお残りください。

「表彰状」 2009-2010年度 RI会長賞・会員増強達成賞・会員増強優秀クラブ賞



辻本会長より竹中直前会長へ

「贈呈式 和歌山市民図書館へ本を寄贈」 40周年記念事業委員会 委員長 保田博



このたび、和歌山東南ロータリークラブより「創立40周年事業」として、金1,500,000円相当分の図書(大活字本)の寄贈をいたしました。2010年が「国民読言年」であり、急速に高齢化が進むなかで、標準サイズの小さな活字では読みにくい方にも、読書を楽しんでもらおうという趣旨から、通常と比べ活字のサイズの大きい「大活字本」約500冊の寄贈いたしました。



和歌山市民図書館 館長 木村哲文

みなさん、こんにちは。和歌山市民図書館の館長の木村でございます。

本日は素晴らしい席にお招き頂きまして、本当にありがとうございます。

先ほど辻本会長さまから多大のご寄附を頂戴いたしました。頂いたご寄附が巨額であるということもそうですが、添えられたお気持ちと言いますか、お心がまた大変嬉しいものでございまして、「国民読書年」にあたる本年に、しかも「大活字本」を指定してご寄附頂きましたことに感激しております。

大活字本は、はじめに保田40周年記念委員長さまからご紹介がございましたように、私のような者でも眼鏡なしで楽に読むことができるくらい大きな活字で組まれた本でございます。

これから需要が多くなると予想されておりまして、また、先天的に物が見づらい、弱視の人たちにも読書を楽しんでもらえる、非常に役に立つ図書でございます。実物は、各テーブルに1,2冊ずつ置かせて頂いております。

しかしながら、平均単価にして、1冊あたり3千円をやや超えまして、また3分冊が増えてしまったりして、通常の本よりも5倍以上高くなるものもあり、なかなか揃えにくいものでもあります。

最近、大活字本の世界にも、村上春樹の『IQ84』や朝の連続ドラマの原作の『ゲゲゲの女房』など、人気のある図書も少しずつ登場するようになりましたから、2千冊程度あれば37万市民の期待に十分こたえられるのになあというのが、正直なところでございます。現在、約1,400冊の蔵書でございますが、一挙に500冊が増え、ほぼ2千冊になります。私たち図書館員も嬉しいですが、なによりも大活字本ファンの市民にとって、こんなにわくわくすることはないだろうと思います。

和歌山東南ロータリークラブさまは、来年2月20日に創立40周年をお迎えになるとお伺いしておりますが、私どもの市民図書館は来年7月28日が開設30周年にあたります。ちょうど10年後輩になります。

そのようなことを併せまして、本日頂戴いたしました大活字本、全500冊の図書館登録日は、東南ロータリークラブさまの記念の日、平成23年(2011年)2月20日にさせて頂きたいと思っております。

なお、図書館登録日とは、私どもの図書館に新しく本が入った、いわば本の「誕生日」に当たるものでございまして、和歌山東南ロータリークラブさまから頂いたこの日のことを決して忘れないということとともに、私たちも「もっと市民の使い勝手のいい図書館」になれるように新しく歩いていきたいという気持ちを込めたいと思っております。

まだまだお話をし、お礼を申し上げたいことはたくさんございますが、お時間の都合もございまして。

最後に、和歌山市民図書館の全利用者を代表いたしまして、改めてお礼申し上げます。

本日は、本当にありがとうございました。

一、大活字本五百冊相当分 巻首五拾萬円
 以上
 右、和歌山市民図書館館用図書として
 寄贈いたします。

平成二十二年十一月十七日

和歌山県南ロータリークラブ
 会長 辻本 圭三

和歌山市民図書館館長 木村智文殿



辻本会長より和歌山市民図書館 木村館長様へ目録贈呈

I DM発表② テーマ「奉仕活動の在り方について」現状のままで良いのか？またもっと他の奉仕活動を行うのか？

✚ A班 リーダー 山田さち子 サブリーダー 山口幸也



日時:11月4日(木)、場所:ととや、時間:18:30～、出席者:有本・竹中・松浦・中曾・赤在・山田(さ)会員
 和気あいあいと楽しく会話がはずみ、奉仕活動の在り方については、現状のままで良いとの意見が出ました。
 その中で2件

- ① 何か継続していける奉仕活動はないか？と
- ② 一人清掃の件で、毎回清掃に行ってもゴミは無く、きれいに清掃されていて、行っても意味が無いと、時期がはずれてもゴミの有るところに掃除に行かないと。

この2件でした。

✚ B班 リーダー 和田 薫 サブリーダー 溝落和作 (発表者)



開催日・場所:11月12日(金) PM6:30～、ビストロブリュム
 参加者:8名中5名(和田(薫)、保田、吉田、鯨、溝落会員)

○現在行っている継続奉仕活動

- ・東南育英会:向陽高校の生徒5名に奨学金を渡している(1972年～)
- ・和歌山市軟式学童野球東支部の後援(1985年～)
- ・アンコール小児病院支援事業(5カ年計画)
- ・市内一万人大清掃参加、紀の川河川敷清掃参加
- ・JR和歌山駅前花壇、花の植え替え事業参加
- ・書損じ葉書・未使用テレホンカード寄付事業
- ・その他

- ・単年度奉仕活動として、周年記念事業、各年度事業として多くの奉仕活動に取り組んでいます。
- ・今後の奉仕活動については、他組織(ライオンズ・キワニス、他)との社会奉仕のサービス合戦を行うのではなく、ロータリーの根幹である職業奉仕を基にした奉仕活動を行えないものか議論をおこなう必要があるのではないかと。(現在の若者達の就職問題等に職業人として知恵を発揮できないものか。)
- ・ロータリーは宣伝ベタであるとの印象があるが、マスコミ等に取り上げられるのも良いが、先人達が地道な活動を行ってきた実績があるのではないかと(長い目で見れば良い評価が得られている)

以上

✚ C班 リーダー 向井久純 サブリーダー 和田達男



日時:11月15日(月) 19:00～ 場所:南国飯店 出席者:8名

まず、『現状のままで良いのか?』という点につきましては、過去様々な奉仕活動をされている事に関しては、異論はありません。

但し、過去からの継続的事業に関しては、事業のスタート時点と現在の時代背景(社会情勢)を鑑みて、今一度精査・検証を行った上で必要性・有用性を再検討してみるのも良いのではないかと。また、国際奉仕に関しては、他ロータリーを介しての共同的事業に特化して少し全体の事業を縮小すると同時に、ここ数年来の海外のお国事情の変化をみんなで勉強して「先進国・新興国・後進国」の区別を再認識し 様々な国の内情及び気候・風土・文化などを認識したうえで、国際奉仕の意義を再検討し、改めて事業のあり方を考えたほうが良いのではないかと。みんなで改めて考えることによって、自分かちの勉強にもなると思います。

次に、『もっと他の奉仕活動を行うのか?』という点につきましては

現在、様々な個人・企業・個人等が各地域で様々な奉仕(ボランティア)活動を行っていますが、基本は老人・子供・障害者などの社会的弱者と位置づけされる方々を対象とした奉仕、公共施設及び公共性の高い場所にたいする奉仕、事故・災害時における緊急を要する奉仕などを代表する様な奉仕が主流を占めています。

つまり、奉仕の範囲に限られた中で奉仕(ボランティア)活動を行っているのが現状です。普通に奉仕(ボランティア)活動を考えた場合この範囲からなかなか逸脱することはできません。

ここで、一つ考えてみてください、本来「社会的弱者と位置づけされる方々」の中に本当に「そうでない方々」は入らないのでしょうか? 今、社会は非常に病んでいると思いませんか? 公共の乗り物で、公共の場所で、公衆道徳を含むルール・マナー及び他人への気遣い・思いやり…年々ひどくなっていると思いませんか。ある意味日本国のほとんどの人が社会的弱者になっているのかも知れません。

昔、誰かが言っていましたよね。「一日一善」これが出来ればこれも立派な奉仕(ボランティア)活動ではないですか?

ひとから御題を与えられた奉仕では無く自然発生的に行動できる奉仕が本当の奉仕(ボランティア)ではないのでしょうか?

この様に考えたときに、もっと子供の頃からの道徳教育を強化しないと、どんどん社会が病んでいくような気がします。

まずは、子供の頃からの道徳教育を強化する事を目的とした事業で支援又は誘導するような奉仕(ボランティア)活動を考え行

動に移す余地は無いのでしょうか？ それとは別に、奉仕（ボランティア）活動に対する褒章はどうでしょうか？
但し、一般的に行われている団体・企業・有名人向けの褒章ではなく、褒められることを目的とはせず、気持ちで奉仕（ボランティア）活動をされて、草の根的な地道な事をされているような人で、隣近所のヒト的存在の方を対象した様な褒賞です。ただ与えるだけでなく、その様な方々をより多く、より深く知ることによってその事を参考にロータリーの奉仕のあり方が見えてくるかも知れません。以上を以って「IDM C班」の意見とさせていただきます。

◆ D班 リーダー 中谷敬子 サブリーダー 郷間博敏（発表者）



日時：H22年11月8日（月） 場所：月宮陣 おいしく頂き、残金はニコニコ箱へ。
議題：奉仕活動

紀の河大清掃 和歌山市1万人大清掃など今まで取り組んできたこともあるが、何か企画を考えては、ということになった。
今年はNHKの大河ドラマで、坂本龍馬が人気であったが、和歌山市にも明治維新にかかわりのある人物が多くいて、そんなゆかりの土地の清掃をしながら、明治維新をしの手でみたい。

スローガン

「紀州の明治維新をたどり、紀州を洗濯いたしたく候」

（案）陸奥宗光の生誕の地→陸奥宗光の銅像→勝海舟の寓居あと→紀三井寺滝本院佐々木只三郎の墓参と清掃。

◆ E班 リーダー 古川多津美 サブリーダー 土屋一博



日時：平成22年11月9日（火） 12時00分～13時30分
場所：JOY味村 片岡町1丁目1-20

出席者：5名（太田会員、角谷会員、龍田会員、楠本会員、古川会員）（メキップ 山田（剛）会員）

【協議事項】

議案 1 奉仕活動の在り方について

ひとり身のお年寄りに対して（孤独死などの事故を防ぐため）地域密着の奉仕を考える、青少年との連携をとる（向陽高校の生徒さんとともに年に何回か、合同慰問などをする。）

東南ロータリーの電話番号をひとり身のお年寄りに教えてあげて、不安を少しでも解消してもらう。

社会奉仕委員長に今後の社会奉仕、職業奉仕についてお願いする

議案 2 その他

40周年について

全員参加の呼びかけをする。山中湖への交通手段について話し合う。

◆ F班 リーダー 青木良平 サブリーダー 坂口和男



日時・場所：11月4日（木） 18:30～ 江戸銀：8名中6名

テーマ：第2回「奉仕活動の在りかたについて」現状のままで良いのかどうか？

①とらふす学園、旭学園等への自転車の寄付（放置自転車の再生利用）を行えば、台数も多く寄付できるのではないですかとの事です。

②とらふす学園、朝日学園施設等の子供たちをつれて、貴志川町へいちご電車でいちご狩りをしたらどうかと皆様 の意見が出ました。

③継続事業につきましては、現状の状態を進めて行こうと話がまとまりました。

◆ 総評 ロータリー情報・規定委員会 委員長 駒阪純章



本日は、今期2回目のIDMの発表をして頂き有難うございました。

今回は『奉仕活動の在り方について』と言うテーマで皆様方に意見交換をして頂きました。各班のリーダーの方々は、皆様方がフレッシュ会員様で御座いましたので、私共東南RCの今迄の奉仕活動はどんな事をして来たのか、又今後どの様な奉仕活動をして行けばよいのか分って頂く為にも今回のテーマにさせて頂きました。しかし各班のリーダーさんは、皆様方の色々な意見を集約して本当に分かりやすく発表をして頂きました。本日発表をして頂きました皆様方の意見を今後の私共東南RCの奉仕活動に活かしてまいりたいと思っております。本日は有難うございました。

ニコニコ箱

和田達男 会計

竹中君・RI 会長賞はじめ3つの賞を頂戴いたしました。光栄に存じます。会員の皆様のお陰です。

ありがとうございます。

駒阪君・IDM 各班のリーダー・サブリーダーの皆さん、本日のIDMの発表、宜しくお願い致します。

堀君・クリスマス家族例会を楽しみにしています。ご結婚記念日のお祝い・角谷君（58回。1に健康、2に辛抱。永くお世話になっております。感謝。）

保田君、辻本君、和田（達）君、駒阪君、奥村（智）君、山本君、平君。

ロータリー財団

和田達男 会計

辻本君・11月はロータリー財団月間です。

竹中君・お寒くなりました。皆様体調管理には十分気を付けましょうネ！

堀君・ロータリー財団委員長、よろしくお願いたします。

40周年記念BOX

和田達男 会計

辻本君・40周年記念事業として、和歌山市民図書館に大活字本を寄贈させていただきます。

釜中君・40周年記念事業を祝して。

堀君・40周年、連れていってください。

米山記念奨学会

和田達男 会計

山田（剛）君・米山にご協力、お願いします。